

鉄犬異托邦文學賞 初探

文 | 鄭宜昀 文化工作者

圖 | 編輯部

臺灣文學再傳捷報，臺灣因為文學而發光，也因為文學家默默書寫而讓我們的世界光彩奕奕。異質的存在，是文學極重要又富含弔詭的議題。由彼邦傳來夏曼·藍波安榮獲「鉄犬異托邦文學賞」殊榮，謹此為賀。

前言

「日本鉄犬異托邦文學賞」(Tekken Heterotopia Literary Prize) 至 2018 年底已辦理五屆。與日本最廣為人知的「直木三十五賞」(なおきさんじゅうごしょう)、「芥川龍之介賞」(あくたがわりゅうのすけしょう) 一樣，得獎者由主辦單位組成評審團隊，選拔出最合適的作品給予表揚。

異質書寫

日本鉄犬異托邦文學賞最新一屆的得獎者不是別人，而是你我熟悉的達悟族文學家——夏曼·藍波安老師。由此可見，鉄犬異托邦文學賞的評選對象不但不限於日本境內，也沒有書寫語言的規定，而是全球各地符合「異托邦」核心精神——「與當代資本主義相對的異質地方」的文學作品，都有可能獲頒該項文學賞。

夏曼·藍波安老師此回的得獎作品為 2018 年

10 月出版的《大海之眼：Mata nu Wawa》，而主要內容是在描寫達悟族的海洋文化精神如何面對漢文化以及現代化所帶來的挑戰與衝突。《大海之眼：Mata nu Wawa》不僅是首次獲頒鉄犬異托邦文學賞首獎的臺灣文學作品，同時也是鉄犬異托邦文學賞開辦以來第一次表揚的翻譯著作，顯示了臺灣原住民的書寫對於整體文學史發展的影響性，也讓國際讀者透過文學看見臺灣多元的文化，因此更加意義不凡。

文學獎的定位

鉄犬異托邦文學賞的主辦單位——「SUNNY BOY BOOK」，為東京的一間獨立書店，同時在網路社群經營了評論專欄，與眾多歐美文學獎項，包括：諾貝爾文學獎、英國曼布克獎、法國龔固爾文學獎……等，定位有相當大的差異。歐美各國辦理的文學獎項，不論是公部門主辦還是私人企業冠名贊助，以「大眾出版圖書」形式受評最

鉄犬ヘテロトピア文学賞に台湾海洋民族の作家

第5回鉄犬ヘテロトピア文学賞に、台湾の海洋民族作家の作家、シャマン・ラボガンさん(左)の『愚問 大海に生きる』(岩波書店)が選ばれ、昨午12時、東京都世田谷区の書店で贈賞式が開かれた。シャマン・ラボガンさんと鉄犬の下村作次郎さん(右)の受賞者二人には、犬の形をした燭台が贈られた。

同賞は詩人の宮沢次郎さんと若木が「主眼から外れた、小さな場所や書かれた作品」をテーマに創設。2014年に第1回の受賞作を出した。昨夏、都内で開いた読者会では、3時間近い激論の末、満場一致で大海に生きるの作者と題詞者に授賞が決まったという。

シャマンさんは、台湾本島南東部に位置する原住民族・タオ族の島、蘭嶼に生まれた。贈賞式では「今日は嬉しい、美しい奇跡の日です。奇跡とは、私が蘭嶼出身の作家でいながら、今東京でこの賞を受賞していることです」とあいさつ。作品を日本に広めてくれた作家、故・津島佑子さんへの感謝の言葉を述べた。また、祖父から伝えられたという島の歌を披露し、会場を沸かした。台湾文学や自叙伝文学を翻訳・研究してきた下村さんは、日本統治時代からの歴史を振り返り、「私たちは台湾に関して無知であることを意識したい」と語った。そして「(贈詞者)私にまで授賞、本当にうれしく思います」と喜びを述べた。

『大海に生きる』は、シャマンさん初の自伝的小説。政治的、経済的な発展の中で、タオ族の伝統的な文化を築き上げていく努力が描かれる。選考委員の一人で文学事務局長を務める作家の木村友祐さんは「僕らの世界が何を置き去り、どんなふうに見えるかの発想を驚かせている。足元から教えられる。言葉で埋め尽くされた世界に對峙しているシャマンさんの姿勢を僕らも共有したい」と感嘆を述べた。

【贈詞者、写真(左)】

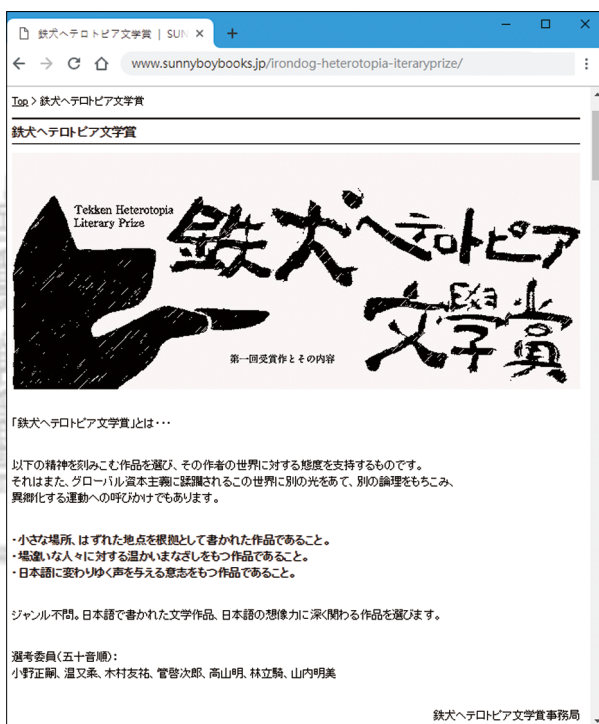


鉄犬ヘテロトピア文学賞を受賞した作家のシャマン・ラボガンさん(左)と贈詞者の下村作次郎さん

2019年1月9日『毎日新聞』(夕刊)「鉄犬ヘテロトピア文学賞に台湾海洋民族の作家」

為常見；而鉄犬異托邦文學賞的主辦單位既為獨立書店，又將「異托邦」訂為評選核心概念，具有高度的獨特性。

鉄犬異托邦文學賞目前定位可視為「精神價值或特色」的「認證性質」文學獎項，而且是以創作者為核心。這樣的屬性不僅與英國曼布克獎、美國國家圖書獎等以「出版市場與產業鏈」為重點的文學獎項有著廣大的差異，也令人期待該獎項是否會在文學界帶領另一種風潮，因為辦理文學獎項經常要思考核心目標是要為某一作家或文學創作「背書」，增加其在出版市場的行情，還是純粹的學術、藝術層面的「價值認證」。以目前鉄犬異托邦文學賞的辦理情形來看，因為主要以5位文學相關工作者進行評論以進行選拔，而且只累積了五回合的辦理成果，整體上還是相當「小眾」，「認證」的特性相對下比較顯著。但文學與出版市場密不可分，因此鉄犬異托邦文學賞是否在規模與能見度增長後，也與英國曼布克獎等歐美文學、圖書獎項一樣，往「大眾出版市場核心」發展，也值得文學界關注！



鉄犬ヘテロトピア文学賞網頁